

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

|       |                  |
|-------|------------------|
| 園名    | 社会福祉法人村山苑 ひよし保育園 |
| 活動日時  | R6.4月～3月         |
| クラス   | 3歳児クラス           |
| 年間テーマ | 変身、シャボン玉、色水      |

1.活動のテーマ

「変身」（幼虫から蛹へ～）

◎テーマの設定理由（子どもの姿）

- ・子どもたちが見つけた卵を育てていると、青虫が生まれ「これは何になるかな」と強い興味を持っていた為、テーマを設定した。
- ・疑問を持ち、自分たちで調べ仮説を立てる経験を充実させることを目的とした。

2.活動スケジュール

※スケジュール計画するのではなく、子どもの発言を拾いながら子ども主体となる保育を継続していた為、活動の日時を記載とする。

- 4月頃
- ・園庭にあるダンゴムシやアリに興味を持ち育てる。
  - ・虫眼鏡やタブレットを活用し脱皮や子どもの様子を観察。
  - ・新たに、卵を見つけ、青虫となる様子を見守る。
- 4,5月頃
- ・生物の名前や食べ物等を、図鑑やタブレットで調べる。
- 6月頃
- ・アゲハ蝶の羽化を見届ける。
- 7月頃
- ・4匹数夏アゲハの幼虫を育てる。
  - ・脱皮の瞬間を発見。動画撮影し、プロジェクターで共有。
- 7月下旬
- ・死んでしまう蛹（寄生された蛹）に興味を持ち、PCやタブレットを使用し寄生する虫についても調べる
  - ・いろんな虫や生き物への興味へ広がる。
- 11月
- ・青虫を題材に入れたお楽しみ会の劇づくりへ。

3.活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

・蝶専用の虫かご ・タブレット ・PC ・虫メガネ ・昆虫図鑑

◎活動の内容

活動の中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり・写真



「園庭ノダンゴムシヲソダテイ！」と室内で飼い始め、赤ちゃんが誕生。「チイサイネ」



「コレハ、ナニニナルカナ」「デモ、イロンナ蝶ガ、イルヨ?」「ホントダ・・・」



たくさん蛹になったよ！



そして・・・アゲハチョウになった！みんなでお別れしようね。



そして、おたのしみ会では青虫と子ヤギのオリジナル劇をすることにしたよ！

5.活動振り返り〈振り返りによって得た大人の気づき〉

- ・乳児期に虫への興味があり、バッタを育てる経験をもとに、今年度もその想いを引き継ぎダンゴムシの飼育を行った。興味あるものを部屋に持ち込むことで、さらなる興味を拡げることが出来た。
- ・アゲハ蝶の幼虫である答えを示さず、活動を進めることで子どもたちの探究心が日々深まっているように感じた。
- ・虫の探求活動を機に、図鑑では調べきれない事実や、タブレットやPCの活動へと広がっていった。プロジェクターの活用により、間接的に興味を持ち虫への成長に興味を示す子も増えていたように思う。
- ・小さな命を飼育することで、クラス内に関わらず園や保護者と会話が共有でき、活発なコミュニケーションへと広がっていった。